

市政刷新

2011年 夏号
発行者／福岡市議会議員 調崇史(民主・市民クラブ)



4月の初当選以来、地元で、議会でも元気に働かせて頂いています。この夏も暑さに負けずに頑張ります！皆様の市政に対するご意見をお聞かせください。



すぐ動く！よく働く！調たかし
福岡市議会議員(城南区)

始動！調たかし 福岡市議会初当選！！

4,372票の負託を受け初当選！

4月の福岡市議会議員選挙では、城南区選挙区で4,372票を頂戴し、初当選させて頂きました。選挙を通じて訴えた「地域主権の時代にあった市議会への改革」を推し進め、郷土・城南区のために全力で働いて参ります。



行動！「視察＝政策提案」行政視察のご報告

一都・一道・一県で3つの先進事例を視察

- 1 北海道釧路市の生活保護自立支援プログラム
- 2 所沢市議会の議会改革の事例
- 3 東京都板橋区の高島平再生プロジェクト

5月31日(火)から6月4日(土)にかけて、上記の3都市・特別行政区に出張し、議員活動で初めてとなる行政視察を行いました。このうち①生活保護自立支援プログラムと③高島平再生プロジェクトについては6月21日(火)の本会議における一般質問で、視察内容をもとに政策提案を行いました(詳細は6月議会一般質問の報告をご覧ください)。



所沢市議会議員との意見交換

子育て・教育・福祉の分野で働きます！

第二委員会への所属が決定

- 1 こども未来局
- 2 教育委員会
- 3 保健福祉局

5月17日(火)の臨時議会で、所属する常任委員会が「第二委員会」に決定しました。こども未来局、教育委員会、保健福祉局が所管する業務についてチェックするのが主な業務となります。地域の声に耳を傾けながら子育て・教育・高齢者の見守り・障がい者の社会参画など幅広いテーマで調査研究に励み、積極的に政策提案をしていきたいと考えています。



若者の力で地域を元気に！

高島平再生プロジェクトでは、高齢化が進む公団住宅に近隣の大東文化大学の留学生などが住み込み、大学から家賃補助を受ける代わりに町内会活動に参加したり、団地住民の交流の場となるコミュニティカフェを運営して、地域の結びつきを強める役割を果たしています。福岡市は若者率(15歳から29歳の人口比率)が政令市で最も高いという強みがあり、大学や専門学校などと協力した取り組みを積極的に進めるべきです。コミュニティバランスを適正化し、高齢化が進む地域を元気にするためにも、大学や若者と協働する施策を研究して参ります。



かつては東洋一のマンモス団地と呼ばれた

議会活動！

6月議会・一般質問で登壇！

初質問にあたっての「決意表明」

6月17日から27日まで開かれた6月議会において、民主・市民クラブを代表して一般質問に登壇しました(21日午後の本会議)。議会人として初めてとなる質問の機会でもあり、冒頭で「愛する郷土・福岡のため、そして希望ある確かなまちを未来の世代につないでいくため、市議会議員としての職責に全力で取り組む決意です」と力強く述べさせて頂きました。

1 福岡市地域防災計画の見直しについて

原子力災害に「漏れの無い想定」を
東日本大震災による福島第一原発の原子力災害を受け、福岡市では学識経験者などからなる検討委員会を立ち上げて、地域防災計画にこれまで想定していなかった「原子力災害」を盛り込むなどの見直しを進めています。質問では玄海原発での有事の際に、周辺自治体からの避難者の流入や、福岡市から周辺自治体への避難などの事態が生じるについて「漏れの無い想定」を要望しました。また高島市長に対しても、原子力という高度な政治判断を求められる課題について、明確な姿勢と強いリーダーシップを発揮するように求めました。

2 生活保護費の著しい増加への対策について

「セーフティネット」と「財政規律」

今年度の福岡市の生活保護費は、昨年度を100億円余り上回る大幅増となりました。主な原因はリーマンショック以降の雇用情勢の悪化により、働けるのに仕事がなく生活保護に頼らざるを得ない世帯が増えていることです。しかし、福岡市は2億6千万円にのぼる膨大な借金を抱えており、セーフティネットと財政規律の両立が厳しく問われています。

「就労支援」の拡充を求める

質問では、福岡市がこれらの受給者に対する就労支援、自立支援にもっと力を入れなければならないことを指摘。5月末からの行政視察で訪れた北海道釧路市の「自立支援プログラム」が、受給者の就労への第一歩としてボランティア活動を取り入れていることを紹介し、福岡市でもこうした手法を積極的に活用することを求め、前向きな答弁を得ました。



3 局地的な高齢化への対策について

これからの社会が突き付けられる課題

「都市型限界集落」という言葉が近年聞かれるようになりました。限界集落とは過疎地で高齢者の割合が50パーセントを超え、地域コミュニティの維持が困難になるなどの事例を指したものですが、こうした現象が大都市でも見られるようになってきました。局地的な高齢化に伴う孤独死やコミュニティの弱体化などの課題に行政が問題意識を持ち、対策を講じていくよう訴える目的で質問を行いました。

地域に「若い力」を入れていくために

福岡市内の市営住宅では、9か所で高齢化率が3割を超えています。こうした市営住宅からは「若い力を入れて欲しい」という声が上がっていますが、市営住宅の間取りが旧式であることなどから若者の入居が進まない現状があります。質問では、現在福岡市が進めている市営住宅の整備計画の見直しにあたって「若者の入居促進につながる対策」を盛り込むよう特に要望し、担当局から前向きな答弁を得ました。また、東京都板橋区の高島平団地で大学と地域が連携して展開している「高島平再生プロジェクト」の視察結果をもとに政策提案を行い、高齢化が進む地域の見守りについて更に踏み込んだ対応を求めました。

必要なのは「新たな視点」

局地的な高齢化について対策を求める質問は市議会でも過去に例がなく、新たな切り口と言えるものです。福岡市の高齢者施策は、高齢化率をあくまで市全体の平均の数値で捉えており、町別・校区別などの細かい数字で管理し、その地域にあった施策を講じるという体制は取っていません。局地的な高齢化の問題に対応するために、いま福岡市の高齢者施策に求められるのは「新たな視点」です。今後も調査研究を重ねて政策提案を続けていきたいと思っています。

調たかし 市政相談所

ぜひ、お立ち寄りください
〒814-0133
福岡市城南区七隈4-8-17
(七隈四角バス停前)
TEL:092-834-9984
FAX:092-834-9983
mail:info@t-shirabe.net



ウェブサイトのご案内



ツイッターやフェイスブックなどと連動したサイトで、日々の活動の様子を紹介しています。ぜひ、ご覧ください。また、オフィシャルウェブサイトからは市政に対するご意見を送れます。皆様の声を聞かせて下さい！

www.t-shirabe.net/

調たかし

検索

しらべ たかし

調 崇史 プロフィール

1978年 4月17日 生 33歳

1978年 福岡市生まれ

1991年 七隈小学校卒業

1994年 梅林中学校卒業

1997年 修猷館高校卒業

2002年 九州大学法学部卒業
TNCテレビ西日本入社

2010年 同社退社

2011年 福岡市議選初当選

現在、金山団地在住
妻と2女